

WORTH

福井法人会 会報 AUGUST 2011



表紙：色鉛筆画 吉川 悅子さん

CONTENTS

会長挨拶	1	女性部会だより	14
税務署長挨拶	2	e-Tax	15
税務署長インタビュー	3~4	叙勲	16
役員紹介	5	新入会員紹介	16
23年度事業計画	6	県連の活動	17
24年度税制改正	7~8	法人会の活動PR	18
活動・行事	9~10	特別寄稿	19
税に関する絵はがきコンクール	11~12	支部のお宝シリーズ⑩	20
青年部会だより	13	法人会の活動日誌	21

vol.60

公益法人を目指して

社団法人 福井法人会

会長 清 川 忠



皆さまこんにちは。

今年の3月11日、東日本大震災、津波、そして原発事故、今日まであまり良いニュースがないように思われます。

政府も震災の復旧また原発事故の後始末に全力をあげているのであろうが、これも思うように進んでいません。

7月の初めにちょっとした用事で、アメリカのニューヨーク、サンフランシスコ、シアトルそしてハワイと行く機会がありました。そこでも震災は別として原発事故で、日本全土が放射能に汚染されていると思っている人もかなり多いように思われました。困ったことです。これも風評被害であろうと思います。日本においては、東日本の震災後いかに景気対策を行われているのか、現状ではわかりません、見えてきません。

そういった中、平成23年度の福井法人会がスタートしました。公益法人を目指す為、委員会を充実させ、新しい委員を加えて新しい法人会を目指して各委員会が開かれました。大勢の参加者の皆さまのご意見を取り入れ、地域または市民に頼られる公益法人を目指し一丸となって進めていくことにしました。

また、法人会が開催する講演会・講習会・勉強会また人間ドックの一部助成、PETガン検診の法人会特別割引などを通じて、健全な経営を目指す会社作り、また税のオピニオンリーダーとして、参加することによって勝ち取って頂きたいと思います。

福井法人会は本年度も前年度に引き続き、基本方針である「会員の研鑽」「税のオピニオンリーダー」「地域社会への貢献」「公益性の高い法人会を目指す」「e-Taxの促進」を五本柱として掲げ幅広い事業活動を展開していくことを思っております。税務ご当局、税理士会、関係友誼団体との連携をより大切にして、大型保障制度の推進など積極的に展開してまいりたいと思っております。

最後になりましたが、皆様のご発展とご健勝、ご多忙をお祈り申し上げてご挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ

福井税務署長

大 塩 俊 明



社団法人福井法人会会員の皆様方には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。この度、福井税務署長として着任しました大塩でございます。ご挨拶を申し上げる前に、この度の東日本大震災により、被災された方々に謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

福井税務署の勤務は15年ぶり4回目となります。福井県は豊かな自然に恵まれ、永平寺や朝倉氏遺跡等に代表されるように歴史的にも重要な位置にあった当地で勤務できることを大変光栄に存じます。どうかよろしくお願ひいたします。皆様方には、日ごろから税務行政につきまして深いご理解とご協力を賜り、紙面をお借りしまして厚くお礼申しあげます。

福井法人会におかれましては、昭和32年の創設以来、「よき経営者を目指すものの団体」、また、「健全な納税者の団体」として、税知識の普及や納税意識の高揚を図るために啓蒙活動に大変熱心に取り組んでおられ、申告納税制度の下における税務行政の円滑な運営にとって大きな役割を果たしておられます。青年部会や女性部会におかれましても、「親と子のふれあいコンサート」と併せて行われている「税金クイズ」は恒例となっており、特に昨年は福井市及び永平寺町の小学6年生を対象に「税に関する絵はがきコンクール」を実施されるなど租税教育事業にも積極的に力を注いでいただき、大変心強く感じております。また、決算期別説明会や聴いて得するセミナーなど各種研修会や講演会も数多く開催されており、このように幅広く活動を展開してこられた歴代会長をはじめ役員並びに会員の皆様方のご努力に対しまして心から敬意を表する次第でございます。

ところで、新たな公益法人制度が導入され、福井法人会におかれましても、公益認定を受けるべく鋭意取り組んでおられると伺っており、当署といたしましても、できる限りの支援をさせていただく所存でございます。

終わりに当たりまして、今後ともe-Taxの積極的な利用など、税務行政のよき理解者として引き続き一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、福井法人会会員企業並びに福井法人会の今後ますますのご発展を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

福井税務署長に聞く

福井税務署長 大塩 俊明 氏

1. 自己紹介をお願いします。

出身は石川県の加賀市です。子供は2人ですが、嫁いだり東京に就職したりして現在は妻との2人暮らしです。趣味といえるものはありませんが、妻に連れられての山歩き・トレッキングに汗を流しています。

2. 税務署に入られたきっかけは何ですか。

国家財政を担うという仕事内容と誤解(税務署では怖い顔をして調査をしていればよい職場で外交的でない私の性格に合っている)からです。

3. 今までの仕事で強く印象に残っていることは何ですか。

平成元年に消費税が導入されましたが、導入に際して消費税準備室に配置され、限られた期間でその導入準備から消費税制度の周知・広報に全力で取り組み、大きな混乱もなく無事導入が図られたことです。

4. 新人のころのエピソードを教えて下さい。

税務大学校を卒業して最初に配属になったのが福井署でしたが、福井は読み難い地名が多く、説明の際、大飯(おおめし)、遠敷(えんじき)と読んで、先輩から早急に福井県の地図を買って、地理と読み方を勉強するようにと指導されたことです。

5. 仕事をするに当たって念頭に置いていることは何ですか。

相手に応じた判断ではなく、自分なりの物差しを持って判断することです。

6. 日常生活で心がけていることを教えて下さい。

太めの体型なので、時間を見つけての小松の木場潟1周(6.4km)ウォーキングを心がけています。

7. 座右の銘は何ですか。

特にありません。

8. 今後法人会に何を望みますか。

法人会及び会員の皆様には、日ごろから税務行政に対するご支援・ご協力に感謝申し上げます。東日本大震災により景気の先行きが不透明という厳しい環境にありますが、今後ともよき経営者を目指すものの団体として、会員企業と地域社会の健全な発展に貢献していただきますとともに、税務行政に対するご理解とご支援をよろしくお願ひいたします。特にe-Taxの利用につきましては、皆様方のご理解とご協力により拡大いたしておりますが、平成25年度での利用率65%達成のため、より一層のご協力をお願ひいたします。

ありがとうございました。

【大塩 俊明 福井税務署長略歴】

昭和27年2月 石川県加賀市生まれ

経歴	昭和45年4月	金沢国税局採用
	平成6年7月	福井税務署税務広報官
	12年7月	金沢税務署総務課長
	13年7月	富山税務署筆頭酒類指導官
	15年7月	金沢国税局酒類業調整官(金沢税務署派遣)
	17年7月	金沢国税局酒類業調整官
	19年7月	小浜税務署長
	20年7月	金沢国税局酒税課長
	23年7月	福井税務署長(現職)

福井税務署人事異動(7月10日付)(法人会関係分)

(敬称略)

職名	氏名	前任
署長	大塩俊明	金沢国税局酒税課長
筆頭副署長	中澤豊	金沢国税局国税訟務官
法人課税第一部門統括国税調査官	酒師洋一	留任
法人課税部門連絡調整官	原由美	福井税務署特官(法人)付連絡調整官

◀◀◀◀◀ 正副会長並びに委員長紹介 ▶▶▶▶▶



会長
清川 忠
清川メッキ工業(株)



副会長
川口 秀男
(株)カワグチ



副会長
毛利 俊則
(株)福井銀行



副会長
吉田 敏貢
(株)アイピックス



総務委員長
齊川 忠男
北陸齊川運輸(株)



組織委員長
木村 明
アキラ(株)



税制委員長
岩佐 晴雄
(株)岩佐土建



広報委員長
坪川 利男
(株)三笠商会



研修委員長
熊澤喜八郎
熊澤商事(株)



厚生委員長
東田 孝三
東田建設(株)

◀◀◀◀◀ 支部長等紹介 ▶▶▶▶▶

支部等	氏名	法人名	支部等	氏名	法人名
旭支部長	村中昌弘	村中建設(株)	麻生津支部長	岩佐実	みのる産業(株)
日之出支部長	岡本伸三	岡本木材(株)	森河合川西支部長	酒井哲夫	サカセ化学工業(株)
啓蒙円山支部長	道端茂昭	(株)道端組	社南支部長	藤井武夫	(株)フジイ工業
和田支部長	齊川忠男	北陸齊川運輸(株)	東部支部長	岩佐晴雄	(株)岩佐土建
松本支部長	酒井康行	(株)酒井染料商会	西安居支部長	西出彦右衛門	(株)ニシデ・コンストラクション
宝永支部長	吉岡正盛	吉岡幸(株)	松岡支部長	水野直人	黒龍酒造(株)
春山支部長	多田邦夫	(株)米五	永平寺支部長	西村治	(株)西村組
明新支部長	山本一雄	AOIホールディングス(株)	上志比支部長	鈴木茂喜	鈴木産業(株)
中央支部長	淡島洋	(株)羽二重餅総本舗松岡軒	清水越廻支部長	河上淳一	三崎屋電工(株)
順化支部長	熊澤喜八郎	熊澤商事(株)	美山支部長	高崎俊二	高崎建設(株)
大手支部長	安部悟	(株)安部書店	青年部会会长	細田真也	(株)ホソダSHC
西部支部長	脇本行雄	(株)コペラわきもと	女性部会会长	梅田洋子	(株)梅田果実店
足羽支部長	中山晴夫	(株)ピリケン	監事	佐々木孝一	佐々木孝一税理士事務所
木田支部長	川井三郎	川井建材(株)	〃	西端巖	税理士法人新和会計
花堂支部長	川口行次	(株)出口商会	専務理事	石黒良一	(社)福井法人会
中藤支部長	木村明	アキラ(株)			

平成23年度の事業計画の主なもの

総務委員会

社会貢献事業活動

- 1 親と子のふれあいステージ
「ワールドイリュージョン」
1月14日(土) フェニックスプラザ
- 2 ほうじん寄席
「三遊亭円楽」独演会
9月2日(金) 福井市文化会館
- 3 女性部会の事業
(1)福井マラソンの給水
10月2日(日) コース周辺
(2)豚汁の提供
11月13日(日) 福井運動公園
- 4 支部の事業
支部において地域の他団体との協賛事業
- 5 県連の事業
(1)ひよこ手帳キャンペーン
(2)キッズ用防犯ブザー・プレゼント
(3)法人会カップ少年サッカー
(4)中学女子駅伝・わんぱく駅伝

租税教育活動

- 1 税の公共施設探検隊
6月29日(水) 春山小学校
7月 1日(金) 御陵小学校
11月 9日(水) 東郷小学校
12月 2日(金) 鷹巣小学校
- 2 青年部会の事業
税金クイズ
1月14日(土) フェニックスプラザ
- 3 女性部会の事業
税に関する絵はがきコンクール
11月~1月に募集
紙芝居と本の読み聞かせ
- 4 支部の事業
紙芝居と税金クイズ
各支部のイベント会場
- 5 県連の事業
税金クイズ(応募型)
少年サッカー、中学女子駅伝・わんぱく駅伝の参加者

組織委員会

組織の拡大

支部役員による会員の加入勧奨を積極的に行い、合わせて退会の未然防止に努める

税制委員会

- 1 税制改正意見等の集約
平成24年度税制改正に向けてのアンケート集約と改正意見のとりまとめ
- 2 関係機関への要望等
全法連でまとめた要望・提言を県選出の国会議員、地方自治体の首長・議会議長に要望

広報委員会

- 1 会報「WORTH」の発行
8月と1月
- 2 ファクス通信「福井法人会ニュース」の発信
毎月1回
- 3 ポスターの駅掲出
10月~11月 JR福井駅のコンコース
- 4 ラジオCM放送
10月~11月 FM福井

研修委員会

- 1 実務者セミナー
7月~2月の毎月1回で計8回 福井県自治会館
- 2 決算期別説明会
6月、10月、2月 福井県自治会館
- 3 著名人による講演会
11月(日程未定) 福井県県民ホール(アオッサ)
- 4 聴いて得するセミナー
9月~3月の隔月
9月28日(水)、11月2日(水) アオッサ
- 5 小冊子の配付
税務、経営その他の参考図書

厚生委員会

- 1 人間ドック受診料の助成
本年は定員に達しました
- 2 PET健診の料金割引制度
福井県済生会病院と福井大学病院 一般料金の5%割引
- 3 福利厚生制度観劇(法人会制度保険加入者のみ)
7月29日(金) 名古屋・御園座 「天童よしみ」特別公演
- 4 会員親睦ボウリング
8月19日(金) ウエーブ40
- 5 貸倒保証制度(取引信用)保険
三井住友海上火災保険

平成24年度 税制改正要望

1

歳入・歳出、税制、財政等

(1) 交際費課税の見直し

- イ 年金、健康保険、雇用保険等の徴収・給付方法をわかりやすくし、国民に理解されるしくみ作りをすること。
- 社会保障制度のしくみを国民に十分に浸透させるためには、今までの広報では不十分であるので新しいやり方を考慮すること。

(2) 行財政改革の徹底

- イ 国・地方自治体議員定数の大幅な削減が急務である。また、歳費や報酬が國民からみるとまだまだ高すぎるので大幅なカットをすること。国会議員の歳費も期限限定のカットでは不十分である。
- 国・地方自治体の公務員定数の削減が必要であり、人件費カットを図ること。
- ハ 国からの補助金についてはまだまだ不要なものが多く、大幅な削減を図ること。
- ニ 国と地方の二重行政をなくし、経費の効率使用に努めること。
- ホ 民ができるものは極力民間に任せ、国、地方自治体のスリム化を図ること。
- ヘ 課税標準を同じくする法人税、所得税、事業税、都道府県税、市区町村税の申告・納税を一本化し、徴税コストの縮小や納税者の利便向上を図ること。

2

経済

(1) 当面の景気対策、中小企業の活性化

- イ 企業の誘致、起業の促進、雇用の拡大、後継者の確保等活性化のために税の優遇は不可欠であるので抜本的な施策を講ずること。
- 必要な公共事業(インフラの整備等)は凍結せず、前倒しして発注すること。
- ハ 就業人口の減少やすぐれた技能・技術の継承のため、高年者の雇用の確保を図る施策を講ずること。

3

国と地方

(1) 三位一体の改革、地域間格差

- イ 消費税を増税するのであれば、地方消費税率の引き上げ(国と地方の配分)を図ること。
- 都会と地方の所得格差は著しいものがあり、地場産業育成に対する軽減税率の適用を講ずること。また、寒冷地における資産の耐用年数の短縮等を図ること。

4 国税・地方税

(1) 法人税

- イ 国際競争力を強化するためにも、また企業の海外転出防止のためにも法人税の実効税率を30%以下に引き下げること。
- 中小企業の軽減税率の適用範囲を引き上げること。
- ハ 事業活動上必要不可欠な交際費は全額損金算入として認めること。
- ニ 従業員の退職に備えて引き当てた退職給与引当金の額は損金として認めること。

(2) 個人所得税

- イ 生命保険料控除のうち個人年金保険料と介護年金保険料は全額控除対象とすること。
- 少子化対策として乳幼児に対する扶養控除を大幅に引き上げること。
- ハ 人的控除全般が複雑なため整理・統合を図ること。
- ニ 土地建物の譲渡により生じた損失の損益通算及び繰越控除を認めること。
- ホ 所得税率の見直しを図ること。

(3) 資産課税

- イ 贈与税の基礎控除を引き上げること。
- 贈与税の配偶者控除の適用要件のうち婚姻期間部分を緩和すること。
- ハ 事業承継における非上場株式等に係る相続税・贈与税の納税猶予制度について事前、事後の手續が複雑であり、かつ適用要件が厳しいので緩和すること。
- ニ 非上場株式(取引相場のない株式)の評価については、実情に即した評価方法・評価額とすること。
- ホ 利子所得や配当所得等の金融所得の均等化・一本化を図ること。

(4) 消費税

- イ 社会保障制度の充実を図るために等財源が不足するのであれば、ある程度の税率の引き上げもやむを得ない。なお、ムダな経費削減が第一であるのは当然であり、また引き上げるタイミングは十分考慮する必要がある。また、逆進対策・複数税率等についてなるべく簡素化にすること。
- 法人税の申告期限延長を申請した法人は、消費税の申告期限を延長できる特例を設けること。
- ハ 各種届出書の提出期限を申告期限まで延長すること。
- ニ 他の税目で課税されているもの(タックスオントックス)には消費税を二重に課税しないこと。

(5) 地方税

- イ 法人事業税及び法人住民税の均等割額を引き下げるここと。
- 自治体が新規に法定外税を導入するときは、十分検討の上真に必要なものに限定すること。
- ハ 固定資産税評価額(課税標準額)については、市場価額等実態に合った適正な評価額とすること。

(5) 環境税

- イ 地球温暖化防止の観点から導入すべきと考え、それを自然エネルギー(太陽光、風力、地熱)奨励策の財源に充てるここと。

公益社団法人への移行を決議



5月17日、福井商工会議所ビルのコンベンションホールで、五十里巧福井税務署長ら多数の来賓を迎え、第36回通常総会を開催した。当日は会員330名余りが出席し、平成22年度事業報告及び収支決算報告、平成23年度事業計画案及び収支予算案がいずれも原案どおり承認された。また、当法人会が公益社団法人へ移行することも決議され、それに伴う定款の変更案も承認された。総会終了後、ジャーナリストで法政大学教授の萩谷順氏が、「地方はどう生き延びるか」と題した記念講演を行った。

公益社団法人の認定を申請

先の通常総会で公益社団法人へ移行する旨の決議がされたのを受けて、7月26日に福井県に対して、認定を受けるための申請手続きを電子により行い受理された。これは全国442法人会の中で28番目である。今後は、公益認定等委員会での審査を経て知事に答申され、年度内には公益社団法人として認定される見込みである。

社会貢献・租税教育事業

被災地の法人会へ義援金を贈る

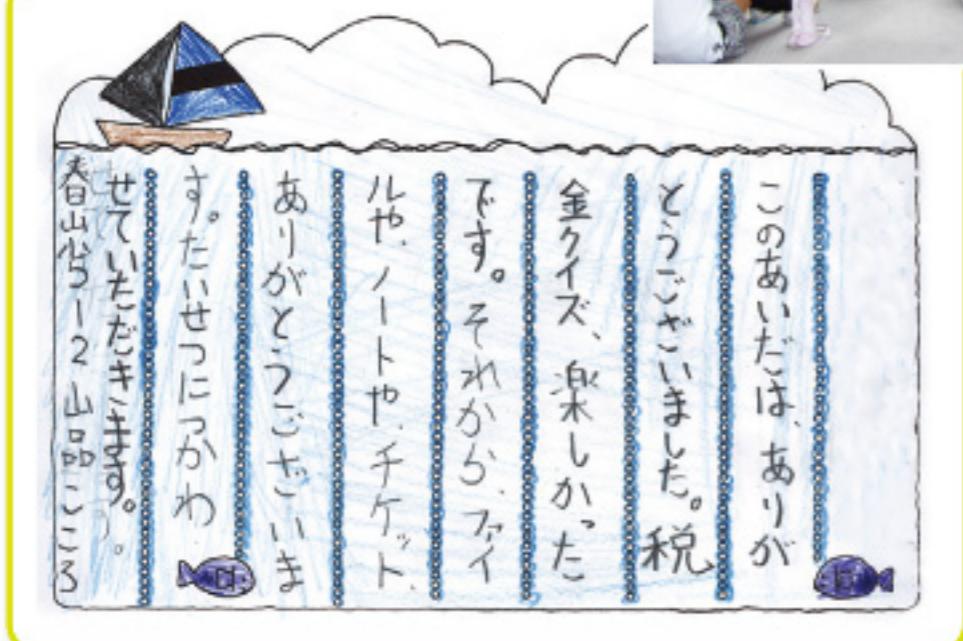
全法連では東日本大震災で被災した法人会を支援しようと全国の法人会から義援金を募った。福井法人会では100万円の義援金を贈り、他に青年部会と女性部会も会員からの募金を贈った。全国から集まった義援金6300万円余りは、特に被害の大きかった宮城、福島、岩手の各県の法人会へ配ったとの報告があった。

公共施設を見学し「税」を勉強

小学生が税金で建設・運営されている公共施設を見学し、税の使い道などを知つてもらおうと「税の公共施設探検隊」を行つた。6月28日には福井市春山小学校の5年生が福井県立こども歴史文化館と福井市美術館を、7月1日には永平寺町御陵小学校の6年生が福井県立歴史博物館を見学した。各施設の職員から説明を受けながら見学した後、福井税務署の広報広聴官から税金クイズを織り交ぜた税に関する話にみんな熱心に聞き入り、多くの質問が出るなど有意義なものとなつた。また、秋以降も数校予定している。



春山小学校



御陵小学校

本年も実務者セミナーを開講

本年度の実務者セミナーを7月13日から開講した。当日は藤井俊彰税理士から「経理×節税×税務調査」の講義を受け、参加者はメモをとるなど熱心に聞き入つてゐた。このセミナーは7月から翌年の2月までの毎月1回で計8回にわたり、税理士、社会保険労務士、弁護士を講師に迎え日常の業務に役立つ事柄を取り上げている。福井県自治会館にて行っており、途中からの受講も受け付けている。



税に関する絵はがきコンクール

女性部会の主管で「税に関する絵はがきコンクール」を実施した。これは、当会の事業の一つである租税教育活動の一環で、小学生に税に対する関心を深めてもらう目的で、6年生を対象に行ったものである。福井市と永平寺の小学校27校から726点の応募があり、当会の役員らが厳正に審査を行った。

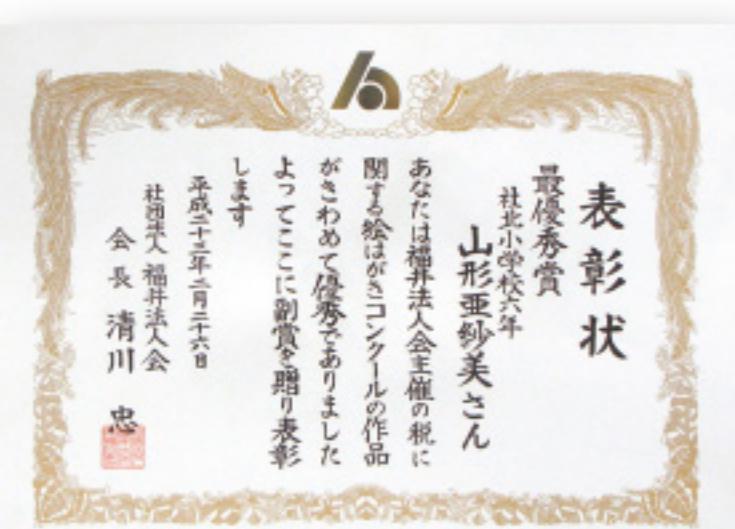


審査風景

た結果、最優秀賞1点、優秀賞11点、佳作24点、入選36点のほか、学校賞10校を選んだ。また、最優秀賞と優秀賞の表彰式は、2月26日にアオッサで行うとともに、優秀作品は2月23日から3月1日までアオッサの1階で、3月2日から15日まで福井春山合同庁舎ロビーで展示した。

The corkboard displays six winning entries from the tax-themed drawing competition, each accompanied by a red ribbon banner indicating the award:

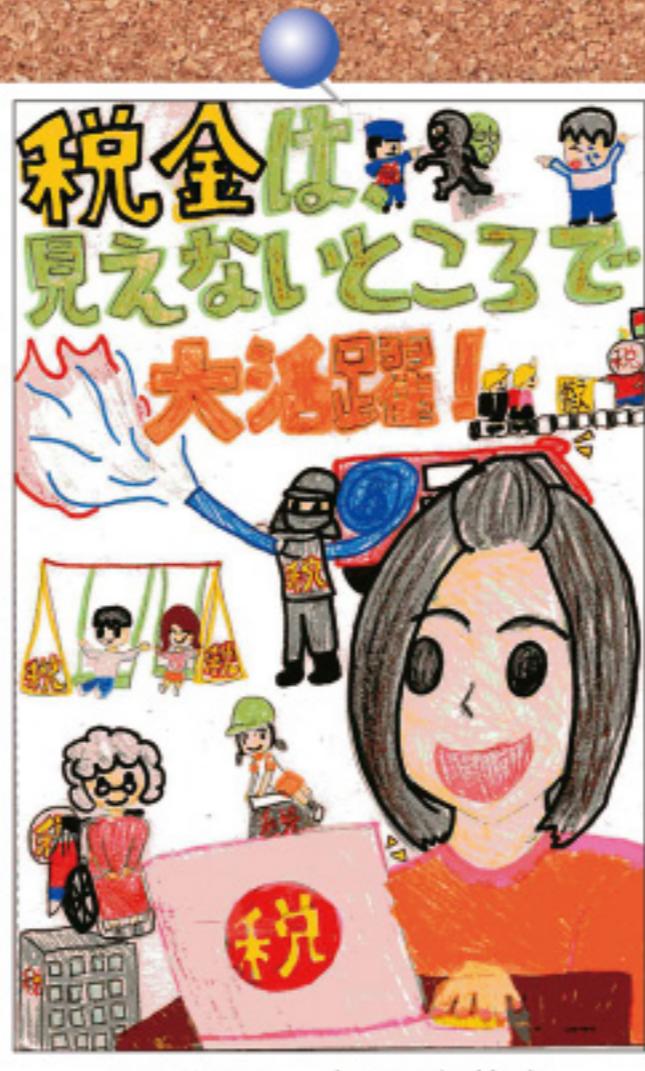
- 福井テレビ放送社長賞**: A drawing titled "みんなの税でやさかな社会" (Everyone's tax for a kinder society) by 宇野 愛実子 (Ueno Aihi) from 和田小学校 (Wada Elementary School). It shows a girl holding a book and a police officer.
- 福井法人会長賞**: A drawing titled "みんなが笑顔" (Everyone smiling) by 辻野 真美子 (Shioya Mami) from 社南小学校 (Shionomori Elementary School). It depicts two girls smiling.
- 福井放送社長賞**: A drawing titled "税金の使い方を考えよう" (Let's think about how to use taxes) by 杉本 大河 (Sugimoto Daika) from 中藤小学校 (Nakatani Elementary School). It features a car, a wheelchair, and a police car.
- 最優秀賞**: A drawing titled "みんなの税でやさかな社会" (Everyone's tax for a kinder society) by 山形 亜紗美 (Yamagata Asami) from 社北小学校 (Shokubu Elementary School). It shows a road scene with coins and a police officer.
- 福井法人会女性部会長賞**: A drawing titled "みんなが笑顔" (Everyone smiling) by 齋藤 あかり (Saito Akari) from 志比小学校 (Shiri Elementary School). It features a hand holding a heart filled with coins.
- 永平寺町租税教育推進協議会長賞**: A drawing titled "みんなが笑顔" (Everyone smiling) by 小林 恵央 (Komatsu Keiichi) from 福井大学附属小学校 (University of Fukui Attached Elementary School). It shows various tax-related icons like a car, house, and coins.



作品展示(春山合同庁舎)



作品展示(アオッサ)



青年部会だより

会長就任の挨拶

青年部会 会長

細田 真也



福井法人会の皆様、日頃は、青年部会の活動に深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。本年より二年間、青年部会の会長を仰せつかりました細田真也と申します。よろしくお願い申し上げます。

さて、今年は、春先より「東日本大震災」が発生し、私自身、対岸の火事のごとく考えていた数々の問題点や矛盾が、一気に火を吹く勢いでございます。

しかしながら、諸先輩方が今まで乗り越えてこられた数々の苦難や葛藤の歴史からすれば、我々の世代にとっては、本格的に「試される時」が初めてやって来たといえるのかもしれません。

こういった中、青年部会では「宮里藍」や「なでしこジャパン」等の女性パワーに負けぬよう、鋭意精進してまいる所存でございます。

これまでややもすれば、消極的になりがちであった「社会貢献活動」に今一步の積極性を持って挑戦してまいります。具体的には、東日本大震災への現地でのボランティア活動参加と福井での支援活動の両面から社会貢献への責務を果たす所存でございます。

このような、社会性を持った活動と同時に、会員相互の自己研鑽にも、これまで以上に内容を充実させて行きたいと考えております。

近年、研修活動を通じて「法律・健康・環境・まちづくり」といった多岐にわたる知識を得る事ができ、会員の意識も大いに向上してきております。

また、研修後の懇親会でも、講師の方々との膝を交えた交流を通して、「その道のプロ」の生の声をお聞きし、自分たち自身の生き方にも深い影響を得ることが出来ております。こういった社会貢献と自己研鑽を通じ青年部会も日々成長を目指しております。

以上、概略をご説明させていただきましたが、この樹を大きく育てるべく、福井法人会青年部会全員が参加できるような活動になるよう、高い目標を持って進んで参りますので、諸先輩の皆様には、何卒変わらぬご厚情を頂きますようよろしくお願い申し上げます。

青年部会も東日本大震災の現地支援活動へ!

平成23年3月11日14時46分 日本の太平洋三陸沖を震源として発生した超巨大地震によって引き起こされた東日本大震災。5ヶ月が経った今でも避難所生活を余儀なくされ、未だ復興困難な状況が続いています。福井法人会青年部会でも何か復興のお手伝いができるかを協議した結果、9月2日～4日の短い期間ではありますが、岩手県陸前高田市への現地支援活動を行う事が決定いたしました。活動内容は、現地との調整が必要なため、まだ決定しておりませんが、福井県社会福祉協議会の現地スタッフの協力を得ながら決めていきたいと考えてい

ます。青年部会員皆様には是非とも当活動のバックアップをお願いしたく、宜しくお願ひ申し上げます。



提供：福井県社会福祉協議会

女性部会だより

会長就任の挨拶

女性部会 会長

梅田 洋子



私達福井法人会女性部会は平成6年に発足して以来、この度13代目の会長としての使命と重責をお引き受けするに当たり、浅学・非才の私には身に余る光栄と存じます。歴代の会長様始め部会員皆様方のご熱心なお力により今日の緩ぎない女性部会を築き上げられた事に敬意と感謝を申し上げます。

ここ近年社会経済におきましても、混迷を極め経済の低迷が続いている中、追い打ちを掛けるように日本列島を震撼させた3月11日の東日本大震災。被災地の復旧・復興も又、この事に伴う福島原発事故も未だ先の見えない状態で益々不透明な社会情勢ではございますが、全法連は4月1日を以って公益財団法人としてスタートを切った事を受け、私達福井法人会女性部会も公益性を一層高める為社会貢献活動特に税の啓発や租税教育活動に取り組んでいかなければならぬと考えております。その一

環として「税に関する絵はがきコンクール」の活動は、去る6月3日全法連女性部会連絡協議会に出席した際、女性部会独自の施策として全国的な公益事業となる様展開していきたいとの事でございました。今年度も昨年度に引き続き福井法人会主催女性部が主管となり第2回実施に向け計画中でございます。他、継続事業としては次世代を担う子供達に紙芝居を通じて税の大切さを理解してもらう為の「税に関する紙芝居」「本の読み聞かせ」、福井マラソンの給水活動、わんぱく駅伝でのトン汁提供等又、部員会の為の研修として税務署長様との懇談会、税の研修会、日帰り研修会、講演会etc

これらいずれにしましても、福井税務署ご当局並びに親会、青年部会、各役員様のご指導があればこそと心より感謝申し上げます。今後も各委員会を中心知恵を出し合い会員相互の親睦を大切に、より一層お役に立てる素晴らしい女性部会を目指して努力して参りたいと存じます。関係各位様の更なるご指導・ご鞭撻を賜ります様重ねてお願い申し上げます。最後に部会員一同各々の事業において充分に楽しみながら且つ積極的に取り組んでおり大変明るい会であります事を付け加えさせて頂きお一人でも多くのご入会をお待ち致しております。

福井県女連協平成23年度研修会を開催

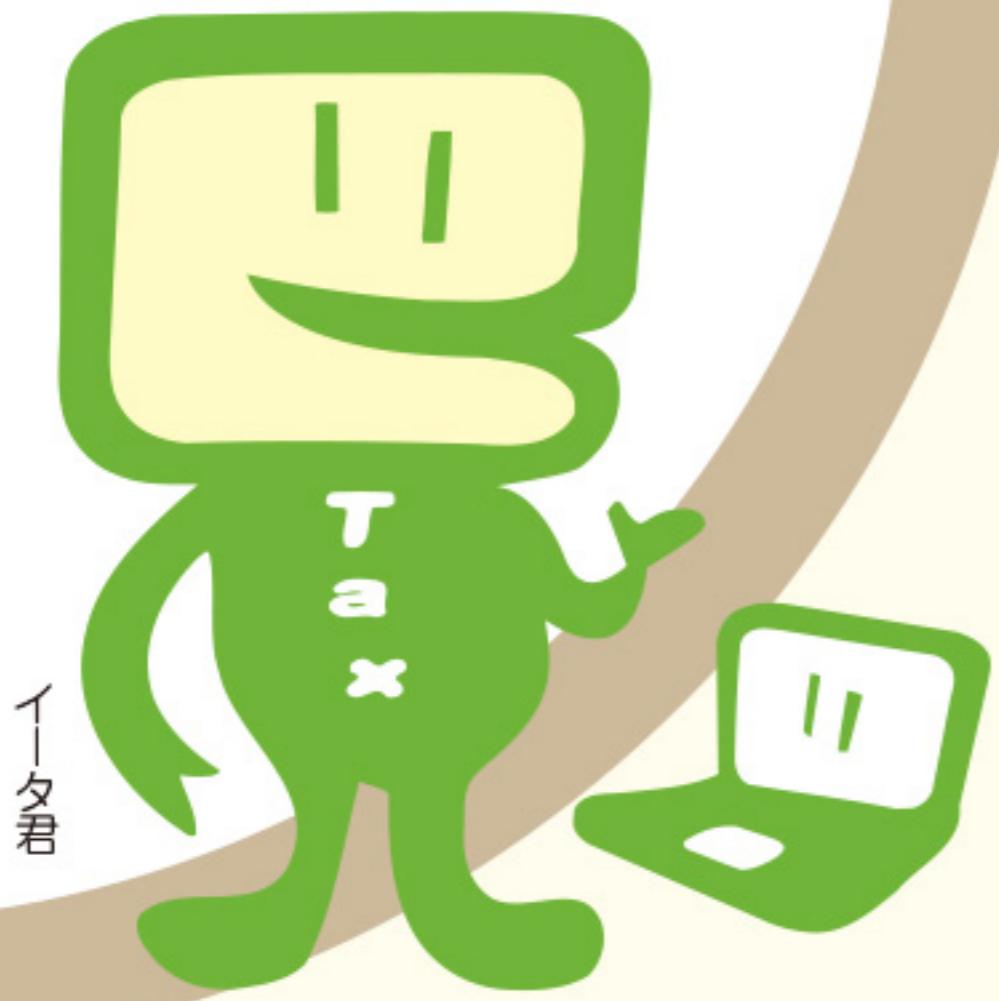
6月22日福井県法人会連合会女性部会連絡協議会主催の平成23年度研修会がニューサンピア敦賀にて開催されました。

当日は、鯖江市の「眼鏡の里」に寄り眼鏡の歴史について勉強をした後、敦賀市へ入りました。

研修会では、敦賀法人会の活動報告がされ毎年開催をしているファミリーコンサートの説明がされ活発な活動をされている事を知ることが出来まし



た。その後講演会に入り今回は故岡八郎さんの長女市岡裕子さんの講演で彼女の人生の様々な困難や苦しみを乗り越え前向きに進んで行く話で私達に大きなエネルギーを与えて頂きました。又、彼女はゴスペル歌手でもあり、最後は素晴らしい歌声も聞け、有意義な一日でした。



イタ君

さらに便利で使いやすく!
ネットでどこでも申告・納税。

e-Tax

国税電子申告・納税システム

はじめてみませんか? ネットで

POINT
申告

納税



e-Taxでは、自宅やオフィス、税理士事務所などから
インターネットを利用して、申告、申請・届出等ができます。

- 法人税、消費税、所得税、酒税及び印紙税の申告ができます(確定申告のほか、中間申告、予定申告を含みます)。
- 法定調書の提出や納税証明書の交付請求のほか、各種申請・届出の提出などができます。

POINT
ダイレクト納付やインターネットバンキングによる納付ができます。

- 税務署や金融機関に出向くことなく、自宅やオフィスなどから納税できます。特に利用回数の多い手続に便利です(源泉所得税の毎月納付手続など)。

(参考)ダイレクト納付

事前に税務署へ届出をしておけば、e-Taxを利用して電子申告等をした後に、簡単なクリック操作で届出をした預貯金口座からの振替により、即時又は期日を指定して納付することができます。(インターネットバンキング等の契約は必要ありません)。

POINT
e-Taxを利用すると…

- e-Taxで納税証明書の交付請求を行うと手数料が安価です(証明書は電子ファイルでの発行のほか、書面での発行も請求できます)。

■ e-Taxのご利用時間 ■

月曜日から金曜日 午前8時30分から午後9時(祝日等を除きます)

※ご利用時間については、メンテナンス作業等により変更する場合がありますので、
事前にe-Taxホームページをご確認ください。

叙勲 (平成23年春)

旭日小綬章

中川 康正 氏
(株)ナカガワ事務機



旭日双光章

安達 肇 氏
福井県環境保全(協業)



旭日双光章

江川 正典 氏
(有)えがわ



旭日双光章

大坂 辰一 氏
大坂観光(株)



旭日双光章

八十島 良逸 氏
(有)八十嶋工業



新入会員紹介

23年1月～7月

法人名	業種	支部名
岩崎工業(株)	輸送機器製造	明新
(有)ワイン企画	不動産の賃貸及び管理	和田
(株)大西組	一般土木	松岡
(株)カズマテキスタイル	レース編立	森田河合川西
(有)坂崎機設	機械据置	麻生津
(株)清水セイコー	眼鏡部品製造	麻生津
(有)新星設備	管工事業	中藤
(株)友和組	管・土木工事業	清水越廻
成本工業(有)		清水越廻
(有)ブイ・アイラボ	歯科技工	啓蒙円山
フクイ中谷石材(株)	墓石販売	啓蒙円山
(株)紋や	飲食業	中央
株)ラピス	葬祭業	明新

県連の活動

「ひよこ手帳」キャンペーンに協賛

今年も“子どもを交通事故から守ろう”と県下の小学校新入生7000人を超える児童全員に傷害保険付の「ひよこ手帳」を配布するキャンペーンに協賛している。これは子どもたちが交通ルールやマナーを守って、交通事故に遭わないことを願って行っているもので今年で11年目になり、各学校の関係者から非常に喜ばれている。



通常総会を開催



5月24日、ユアーズホテルフクイにおいて第28回の通常総会を開催した。当日は金沢国税局の柳谷内課税部次長(課税部長代理)ほか多数の来賓を迎え、県下の6法人会から代議員多数が出席し、平成22年度の事業報告と収支決算報告、平成23年度の事業計画案と収支予算案が原案どおり承認された。また、総会終了後にNHK「バラエティ生活百科」でおなじみの小島幸保弁護士の「身近な法律問題～日常の疑問に答えます～」と題する記念講演を行った。

本年も「税金クイズ」を実施

本年も、“中学女子駅伝&わんぱく駅伝”と“法人会カップ少年サッカー”に参加する選手に、3択式のクイズ用紙を配布し応募してもらう「税金クイズ」を実施する。このクイズに全問正解すると図書カードを渡しており、非常に好評で毎年応募者が増加、昨年は1200人を超えた。

福井法人会は このような活動を行っています。

- ★実務者セミナー、聴いて得するセミナー、決算期別説明会などの研修会を定期的に開催しています。
- ★税制改正についての意見を取りまとめ、関係機関への提言・要望をしています。
- ★著名人による講演会を随時開催しています。
- ★税務・経営の参考となる小冊子を随時配付しています。
- ★会報「WORTH」、FAX通信「福井法人会ニュース」を定期的に発行しています。
- ★「親と子のふれあいステージ」を毎年開催しています。同時に小中学生に対して「税金クイズ」を行っています。
- ★「税に関する絵はがきコンクール」を毎年実施しています。
- ★「ほうじん寄席」を毎年開催しています。
- ★「中学女子駅伝&わんぱく駅伝」に協賛し、税金クイズを行っています。また、同日に子どもたちに豚汁をふるまっています。
- ★「法人会カップ少年サッカー」に協賛し、税金クイズを行っています。
- ★福利厚生制度加入者を対象に観劇旅行を行っています。
- ★人間ドック受診料の一部を助成しています。
- ★PET健診料金の割引制度(済生会病院・福井大学病院)を支援しています。
- ★貸倒保証制度(取引信用保険)を支援しています。

お知り合に声をかけて仲間を増やしましょう。

藤島神社

～尽忠報国の精神と御祭神・新田義貞公～

藤島神社宮司代務者 新田義和(にった・よしより)

かつて「♪七里ガ浜の磯伝い、稻村ヶ崎、名将の剣投ぜし古戦場～」と歌われた古き良き文部省唱歌の「鎌倉」。これは当社の御祭神・新田義貞公が北條氏の鎌倉幕府討伐の際、自然の要塞・鎌倉への侵入を阻まれ大変困っていた時に、稻村ヶ崎において海神に黄金造りの刀剣を投げると瞬く間に引き潮となり、その活路が開け事が成就した故事を歌った、戦前の尋常小学校で使われていた唱歌である。

源氏の大将が行ったそのデモンストレーションは、新田軍20万の士気を高揚した。天文学的な計算でも明らかなように、その元弘3年5月22日(1333年7月12日)近辺は稻村ヶ崎が千潟になることがわかっており、歌の通り千潟になった稻村ヶ崎の磯伝いに鎌倉へ侵入し、北條軍を見事滅ぼしたのである。その後、後醍醐天皇の理念のもとで建武の新政が実現するが、足利尊氏が京都六波羅を陥落させても、根幹の鎌倉が存在していてはどうにもならないことを考えると義貞公の功績が一番大きい。

義貞公は「日月清明」の鏡(藤島神社所蔵)を所持していた。日月は太陽と月のことであるが、「心理、正義などを象徴するもの」という意があり、人間が守らなければならない道義・正義などが滅びないでまだ残っており、またそれが清く明らかなことを信条としていた。御寺さんでは毎朝唱えるお経の一節に「天下和順、日月清明」(てんげわじゅん、にちがつしょうみょう)という言葉があり、「天下和順」は世の中が平和でおだやかであるように、「日月清明」は太陽や月が清らかで、明るく輝くようにといい、心の中に燃えるものをもって、毎朝確実に歩み続けていきたいという意であるという。また公をして、忠義を尽くして国家に報いるという「尽忠報国」の精神が存在する。後醍醐天皇に捧げた真心、これら「日月清明」「尽忠報国」の何れをとっても現代を生きる我々に欠けている、最も必要な精神面ではなかろうか。

物質文化が横行し、更に欲しい情報は氾濫する。このような荒廃した今の時代にこそ、「義貞公のこころ」を忘れず、道義に厚く、誠心・信念や品格高い行いのできる人間が必要とされているのではなかろうか。

私ごとだが平成21年春、御神縁により江守幹男氏(当時商工会議所会頭)他の当社責任役員総意のもと、私は春日大社よりこの藤島神社へ招聘され、補宜に任せられた。そして本年5月1日には宮司代務者の任を押し、日夜先祖義貞公の御神徳が輝くよう御神前に御奉仕している。戦前のように全国からたくさんご参拝をいただき、普く御祭神の御神徳を頂戴し、素晴らしい日本になるよう念願している次第である。



新田義貞公御肖像(藤島神社所蔵)



藤島神社二ノ鳥居正面全景

藤島神社(ふじしまじんじゃ)

新田義貞公戦死の地から明暦年間(1655~57)に公の兜が発見されたので、そこに福井藩主・松平光通侯は萬治3年(1660)「新田義貞戦死此所」と刻んだ石碑を建立(現在の新田塚の由来)。北国街道沿のこの塚は往還の際に拝礼の対象となり、次いで明治3年(1870)福井藩主・松平茂昭侯は一祠を建立。続く明治9年(1876)11月7日、祠(新田社)は別格官幣社に列せられて、畏くも明治天皇より「藤島神社」の社名を賜った。古くより「文武両道の神」として朝野の崇敬厚く、御皇室はもとより、全国より御祭神にあやかってその御神徳をいただこうと参拝者が訪れる。家内安全の神として家庭円満を願い、また子育ての神として撰名(赤ちゃんの名付け)、勧学の神(学問の神様)として受験シーズンにはその御神意の発揚を願い、参拝が後を絶たない。

福井市毛矢3丁目8番21号鎮座(足羽山商工会議所北側)

世界初の 人絹取引所と人絹会館 北陸一の社交・集会場

順化支部



取引市場の立会風景(昭和35年12月1日)



取引所初代理事長
西野藤助氏



昭和30年頃の福井人絹会館全景

明治20年以降、桐生産地から技術導入した絹の羽二重(経糸を細い二本の糸にした平織り)製織技術は福井に根付き、輸出用羽二重として第一次世界大戦の景気とも相まって、大正初期には福井は絹織物での日本のトップの地位を占めるようになりました。

しかし、大正末期になると大戦景気の反動不況により輸出羽二重が大不振に陥り、それに対して新興纖維である人造絹糸(人絹糸)が登場しました。

人絹糸とは木材のパルプなどのセルロースから糸を作るもので、帝國人造絹糸(現帝人)以下多くのメーカーが販売を開始し、それに伴い旧来の絹の製織技術を生かした形で福井でも織物生産が本格化し、昭和の初期には日本で生産される人絹糸の50%以上が本県で消費され、以前の「羽二重王国」から「人絹王国・福井」と呼ばれるまでになりました。

昭和7年いわゆる「オッパ取引(投機的取引)」等の弊害防止や合理化のため東京・大阪に競り勝って世界初の人絹取引所が福井に開設されました。一方、人絹取引所を提供する施設として又纖維業に直接間接に関係する方々の集会の場所として人絹会館の構想が打ち出されました。

昭和8年に西野藤助氏が建設を計画されてから約4年。昭和12年5月に竣工しました。住所は佐佳枝中町34・35番地(現順化1丁目福銀センタービル)で建築延べ床面積1,057坪、地下一階地上四階鉄筋コンクリート造りで総工費は当時のお金で約50万円という巨費がありました。内部の装飾施設も豪華を極め、北陸一の社交機関として県内外に知られこととなりました。生みの親の西野藤助氏は着工を待たずに病没されましたが、遺言で建設資金に30万円という大金を寄付されています。

残念ながら人絹取引所は昭和49年に歴史的使命を終えて解散され、戦災や福井大地震でも倒壊を免れた人絹会館も、老朽化により惜しまれながら昭和59年に取り壊され、現在は福銀センタービルになっています。



昭和12年当時の人絹取引所



福銀センタービル



創立10周年記念風景

法人会の活動日誌

平成23年1月～6月

● 福井法人会

1/12(水)	実務者セミナー⑦	福井県自治会館
1/13(木)	聴いて得するセミナー	アオッサ
1/15(土)	親と子のふれあいステージ	フェニックスプラザ
2/ 7(月)	合同役員会	福井商工会議所ビル
2/15(火)	正副会長・委員長会議	アオッサ
//	絵はがきコンクール最終審査	//
2/16(水)	実務者セミナー⑧	福井県自治会館
2/22(火)	決算期別説明会	福井県自治会館
2/26(土)	絵はがきコンクール表彰式	アオッサ
3/ 3(木)	厚生委員会	アオッサ
4/13(水)	正副会長・委員長会議	ユアーズホテルフクイ
//	監事会	法人会事務局
4/19(火)	正副会長会	福井商工会議所ビル
//	理事会	//
5/17(火)	第36回通常総会	福井商工会議所ビル
6/ 2(木)	委員長会議	アオッサ
6/10(金)	北法連総会	金沢市
6/21(火)	正副会長・委員長会議	ユアーズホテルフクイ
//	決算期別説明会	福井県自治会館
6/24(金)	税務連絡協議会総会	福井春山合同庁舎
6/28(火)	理事会・委嘱状交付	福井商工会議所ビル
6/29(水)	税の公共施設探検隊(春山小)	福井県立 こども歴史文化館ほか

■ 支部事業

3/11(金)	(森田河合)役員会
3/15(火)	(中藤)役員会

■ 青年部会

1/15(土)	総務委員会	ベーネ
2/ 4(金)	理事会	ヨーロッパ軒総本店
2/16(水)	真価塾	すゞ屋
2/25(金)	ボウリング大会	ウェーブ40
3/25(金)	卒業生を送る会	ピリケン本店
4/12(火)	予算会議	アオッサ
//	理事会	//
5/27(金)	第27回定時総会	ホテルフジタ福井
6/20(月)	正副会長・委員長会議	アオッサ

■ 女性部会

1/17(月)	税務研修会	アオッサ
//	理事会	いわしや
2/ 1(火)	絵はがきコンクール第一次審査	響のホール
2/ 9(水)	講演会	ホテルフジタ福井
4/ 7(木)	理事会	アオッサ
5/27(金)	第17回定時総会	ホテルフジタ福井
6/ 9(木)	常任委員会	響のホール
6/15(水)	理事会	アオッサ

● 福井県法人会連合会

1/27(木)	公益社団法人移行検討会④	北陸公益サポートセンター
2/18(金)	公益社団法人移行検討会⑤	//
2/23(水)	福利厚生制度連絡協議会	あわら市
2/25(金)	経団連責任者会議	福井商工会議所ビル
4/ 5(火)	公益社団法人移行検討会	北陸公益サポートセンター
4/ 6(水)	ひよこ手帳贈呈式	福井テレビ
4/ 7(木)	経団連責任者会議	福井商工会議所ビル
4/26(火)	正副会長会	ユアーズホテルフクイ
//	理事会	//
5/24(火)	第27回通常総会	ユアーズホテルフクイ
6/24(金)	県税務連絡協議会総会	福井春山合同庁舎

■ 青年部会連絡協議会

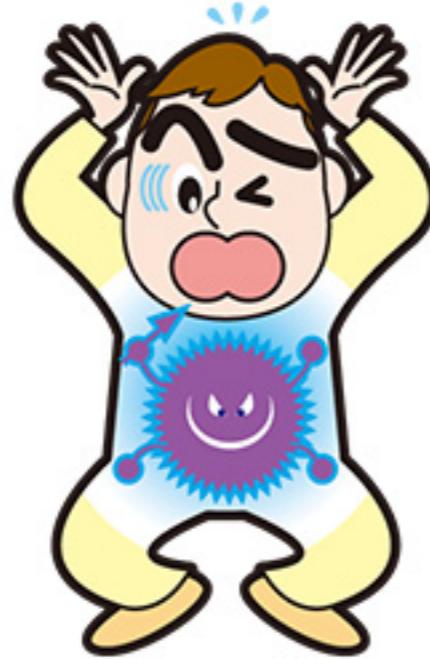
6/ 7(火)	正副会長会	ユアーズホテルフクイ
//	第21回通常役員総会	//

■ 女性部会連絡協議会

5/24(火)	正副会長会	ユアーズホテルフクイ
//	第8回通常役員会総会	//
6/22(水)	研修会	敦賀市

法人会会員企業にお勤めの皆様には、
お一人からでも集団取扱の割安な保険料でご加入いただけます。

がん保険なら



— 法人会 —

生きるための
がん保険 Days

医療保険なら



— 法人会 —

もっと頼れる医療保険
新 EVER
エバー

■引受保険会社(お問い合わせ先)

Aflac アフラック
(アメリカンファミリー生命保険会社)

福井支社
〒910-0006 福井県福井市中央1-3-12 ユアーズ大手ビル5F
法人会フリーダイヤル ☎ 0120-876-505



法人会のビジネスガード
Business Guard Series

AIU保険
CHARTIS

世界有数の地震国、日本!
いつ、どこで大地震が発生しても
不思議ではありません。

地震災害のリスクに備えて、
回避・低減の対策を!



Property Guard

法人会の地震対策プラン

企業財産保険+地震・噴火危険補償特約（財物損害補償特約用）

地震災害のリスクから会員企業をガードします！

引受保険会社

AIU保険会社

エイアイユー インシュアランス カンパニー

〒130-8560 東京都墨田区錦糸1-2-4

詳しいお問合せは

0120-321-564 通話料無料

受付時間:午前9時から午後5時まで／土日・祝日・年末年始を除く

FAX:03-5619-2529 URL:<http://www.aiu.co.jp>

この広告は保険の概要をご説明したものです。
保険の対象、建物の構造、建築年月等によっては
お引受できない場合もございますのであらかじめ
ご了承ください。
この保険の詳細につきましては弊社または弊社
代理店にお問合せください。



企業の明日を支える会員専用のプランとして、昭和46年に発足した
「経営者大型総合保障制度」は、平成23年に40周年を迎えます。



福井支社/福井市中央3-3-23
TEL 0776-24-2269



AIU保険会社
エイアイユー インシュアランス カンパニー

福井支店/福井県福井市中央3-3-23(大同生命福井ビル)
TEL 0776-28-0141